



観世清和

観世三郎太

### 観世宗家 略年譜

- 初世 観阿弥清次 — 二世 世阿弥元清
- 三世 音阿弥元重 — … 七世 元忠(宗節)
- 九世 左近身愛(黒雪) — 十世 三十郎重成 —
- … 十五世 左近元章 — … 十七世 織部清尚 —
- … 二十三世 清廉 — 二十四世 左近 — 二十五世 左近元正
- 二十六世 観世清和 — 三郎太
- └─ 山階彌右衛門 芳伸



観世宗家伝来 能面「翁 白色」 弥勒作 平安時代 重要文化財



### 観世会定期能年間通し券 申込書

口数	席種	ご希望内容
特別賛助会員席	列	番
正面区画会員席	イ・ロ	ブロック
準正面区画会員席	リ・ハ	ブロック
一般区画会員席	ト	ブロック

ふりがな		
お名前	男・女	歳
〒	ご住所	
電話番号 (日中ご連絡先)		
師匠名		

### 観世会

明治三十四年、二十三世宗家観世清廉により大曲(現:新宿区)に能楽堂を建設し、観世流の振興と能楽の技と精神を後世に永く伝える為に発足した組織です。

能楽堂建設と同時に、月の第一日曜日を定期能と定め今日まで百二十年に亘り開催され日本演劇史上最も歴史のある会です。

現在は、二十六世宗家観世清和の下、能楽の普及・継承に努めております。